

「石油コンビナート等における自衛防災組織の技能コンテスト」について

特殊災害室

1 はじめに

石油コンビナートで発生する事故は、危険物の漏えいや大規模な爆発を伴う火災など、甚大な被害に拡大するおそれがあることから、石油コンビナート等特別防災区域の特定事業所には、防災要員及び消防車両等を備えた自衛防災組織又は共同防災組織（以下「自衛防災組織等」という。）の設置が義務づけられています。

自衛防災組織等は特定事業所の防災体制の確立に極めて重要な役割を担っていることから、消防庁では、自衛防災組織等の防災要員の技能及び士気の向上を図り、防災体制の充実強化を目的とした「石油コンビナート等における自衛防災組織の技能コンテスト」（以下「コンテスト」という。）を平成26年度から実施しています。

新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ、昨年度から予選の廃止等を行っています。

2 コンテストの概要

(1) 競技の概要

特定事業所内の石油タンクで火災が発生したという想定で、自衛防災組織等が保有する消防車両を活用して消火活動を行い、その活動の安全性、確実性、迅速性などを評価することとしています。

(2) 出場資格

全国の特設事業所に設置されている自衛防災組織等のうち、「大型化学高所放水車及び泡原液搬送車」又は「高所放水車（大型化学高所放水車、大型高所放水車又は普通高所放水車をいう。）及び化学消防車（大型化学消防車又は甲種普通化学消防車をいう。）」を保有する自衛防災組織等を対象にしており、出場する条件として、管轄する消防本部からの推薦を必要としています。

(3) 審査

令和3年7月1日付けで出場組織を募集したところ29消防本部を通じて32組織の応募がありました。今年度は9月上旬から10月下旬にかけて消防庁職員が現地審査を実施し、その後、提出された競技映像を用いビデオ

審査を行いました。

3 受賞組織の決定

審査結果を踏まえ、11月22日に消防庁長官を委員長とする審査・表彰委員会を開催し最優秀賞（1組織）、優秀賞（4組織）、奨励賞（14組織）、特別賞（1組織）を決定いたしました。

今年度新たに創設した特別賞は、今まで表彰履歴のない組織の中で技能が優秀である組織を対象としています。

4 総務大臣賞表彰式

令和3年12月17日（金）に、合同庁舎第二号館（総務省）地下2階講堂（東京都千代田区霞が関二丁目1番2号）において、表彰式を開催し、内藤消防庁長官から最優秀賞、優秀賞を受賞した5組織に表彰状と記念品を授与しました。



最優秀賞 KSP大黒神奈川共同防災センター



受賞組織との記念撮影

受賞組織及び管轄消防本部一覧

最優秀賞（1組織）

受賞組織名	管轄消防本部
株式会社K S P大黒神奈川共同防災センター	横浜市消防局

優秀賞（4組織）

受賞組織名	管轄消防本部
浮島共同防災協議会	川崎市消防局
鹿島東部コンビナート共同防災組織 共同鹿石隊	鹿島地方事務組合消防本部
E N E O S 喜入基地自衛防災組織	鹿児島市消防局
関西国際空港航空機給油施設自衛防災組織	泉州南広域消防本部

奨励賞（14組織）

受賞組織名	管轄消防本部
秋田国家石油備蓄基地 自衛防災組織	男鹿地区消防一部事務組合消防本部
仙台地区共同防災運営協議会	塩釜地区消防事務組合消防本部
四日市臨海地区特別防災区域共同防災組織（昭四石隊）	四日市市消防本部
新潟西港地区共同防災協議会	新潟市消防局
秋田地区石油コンビナート等特別防災区域協議会	秋田市消防本部
新潟東港西地区共同防災協議会	新潟市消防局
J F E スチール株式会社西日本製鉄所自衛消防隊	福山地区消防組合
三井化学株式会社大阪工場自衛防災組織	堺市消防局
大阪北港地区共同防災組合	大阪市消防局
福井国家石油備蓄基地自衛防災組織	福井市消防局
石油備蓄基地共同防災組織「北海道石油共同備蓄隊」	胆振東部消防組合消防本部
出光共同防災組織	周南市消防本部
富山地区共同防災協議会	富山市消防局
むつ小川原石油備蓄株式会社自衛防災組織	北部上北広域事務組合消防本部

特別賞（1組織）

受賞組織名	管轄消防本部
日本製鉄戸畑構内共同防災組織	北九州市消防局

5 競技映像について

最優秀賞、優秀賞の受賞組織の競技映像を、消防庁動画チャンネル（YouTube）で公開しています。指揮命令系統のしっかりとした組織的な活動や洗練された規律ある活動をご覧頂き、競技に向けた訓練だけでなく、様々な場面で活用して頂きたいと思います。

☆消防庁動画チャンネル（You Tube）

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLUrGKEwru-bAR8rrBtd9OjrOBFoKBQHEX>



コンテスト競技中の風景

6 コンテストを終えて

令和3年度のコンテストは、この表彰式をもって幕引きとなりました。

コンテストの審査を通じ、その競技レベルの高さに感銘を受けました。規律ある洗練された活動は、参加した全ての自衛防災組織等の皆様方が、業務の傍ら、限られた時間の中で厳しい訓練を実施してきた成果であると感じました。

本コンテストの趣旨は、防災体制の充実強化にあり、出場した全ての組織の皆様方が切磋琢磨することにより、知識、技術及び団結力が強化され、自衛防災力が飛躍的に向上したものと思います。

今後も強化された自衛防災組織力を維持し、万一の災害時には強靱なコンビナート防災体制の軸として活躍されることをご期待しています。

最後となりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況をふまえ、予選の廃止等スケジュールの変更中、コンテスト開催にご協力頂いた特定事業所、都道府県及び消防本部の皆様方に感謝申し上げます。次年度以降も、より多くの自衛防災組織等にご参加頂けるよう取り組んで参ります。

問合わせ先

消防庁予防課特殊災害室
TEL: 03-5253-7528